

特別支援に生かす英語活動

これまでの AEEN の歩み(特別支援に生かす英語活動部門)

- ・2006年 「特別支援学級における英語活動の実践」で「下中賞」を受賞 佐藤直子 教諭
 - ・2008年 SASTEC(札幌市小学校英語研究会)において研究発表 久保稔 教諭
 - ・2009年 「特別なニーズを持つ児童生徒の英語教育」の研究者である愛媛大学の中山晃准教授との交流が始まりました。
 - ・2010年 愛媛大学・中山晃准教授のパナソニック財団・先導的実践研究助成が決定し、本日発表する AEEN のメンバー4 人は、本研究の実践部分を担っています。
- * 研究のテーマは「特別支援教育での外国語活動における ICT の活用促進を目指した参加型校内研修の企画・運営ガイドの開発」です。→詳しくは、AEEN のホームページで。

ワークショップ1 D会場 プログラム

① 中富良野町立中富良野小学校 久保 稔9:50~10:05

特別支援の児童の特性をどうとらえればよいのでしょうか。その特性に基づいた効果的な活動(activity)とはどのようなものなのでしょうか。ICT の効果的な使い方とは? 指導案や実践のビデオを見ながら、楽しく学びましょう。

② 旭川市立愛宕小学校 塚田 初美10:06~10:18

相手の様子、表情、動きに注目したり、自分の思いを表現したりすることが苦手な子どもがいます。①で発表した様々な英語の効果に注目し、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れたアクティビティを考えましたので体験してみてください。「レーザーマウスがあればデジタル黒板がなくても大丈夫」も紹介します。

③ 旭川市立向陵小学校 松田 泰生10:19~10:31

「英語の授業もユニバーサルデザインに」の考えをもとに実践しています。パソコンやデジタル教材を使うことで英語に対する興味を喚起することができました。英語を小集団活動に取り入れてみると・・意外な効果がありました。その効果とは?

④ 旭川市立永山南小学校 中川 麻衣子10:32~10:45

子どもたちの「好き」を学習のトピックとしてとりあげると、少しずつけんかが少なくなりました。また、英語で言えないときに「らくらくペン」(成美堂)を使うのも効果的でした。らくらくペンって?

* ここで紹介するいくつかのアクティビティは、通常の学級にも効果的に取り入れることができます。

* 時間は、めやすです。

『特別支援教育で行う外国語活動の実際』 久保 稔

(中富良野町立中富良野小学校)

1. 特別支援教育における外国語活動

- ・児童の特性に基づいた活動
- ・外国語活動の特徴…ペアワークなど、会話をする場面が多い
- ・ゲームなどの活動が中心→情緒の解放(運動面・感情面)
- ・歌やリズムを用いた活動など、楽しいものが多い。

2. これまでの実践について

○児童の実態

- ・体を動かすこと
- ・繰り返し練習することを苦としないこと
- ・視覚優位の子が多いこと
- ・興味があることは長時間集中できること



- ・視線を合わせて話をする
- ・友だちと上手にかかわること
- ・感情をコントロールすること
- ・こだわりがある



○目標

- コミュニケーション能力の向上
- 情緒の解放
- 対人関係能力の向上
- 感情コントロール
- ソーシャルスキルトレーニング



○目指す児童像

- ・自立を促す
- ・困り感の改善、克服
- ・個性の伸長
- ・生活経験を積ませる

3. ICTを活用した外国語活動～パナソニック教育財団助成事業～

特別支援学級に在籍する児童は、困り感(つまづき)や生活経験の不足などの負の特性をもっています。しかし、視覚情報を理解(処理)しやすかったり興味のあることには集中力が持続したりするなど、正の特性もたくさんもち合わせています。そのため、普段の学習でもピクチャーカードやNHKの番組などを活用し、児童が理解しやすい手立てを講じています。視覚優位な児童の場合、視覚に訴えるものがあるかないかで、集中力や学習内容の定着という点で大きな差が生まれます。

そこで、今年度は愛媛大学の中山晃先生と共同で、『特別支援教育での外国語活動におけるICTの活用』という観点で研究を行っております。中山先生や他の共同研究者と共に、児童の興味を引き付ける教材開発を行うとともに、児童の特性に応じたアクティビティやカリキュラムの研究を行っていきたいと考えています。

『特別支援教育に生かす外国語活動』

塚田 初美(旭川市立愛宕小学校)

1 something is falling down.....コミュニケーションスキル・自己認知スキル

- ★ 相手の話に傾聴することが苦手な子どもが楽しみながら「聞くこと」を意識するゲームです。
 - ★ 体の部位のトピックでは、自分の体の部位を意識させ、触感を高めます。
 - ★ 「落ちた落ちた」ゲームを幼稚に感じる児童でも英語で行うことで、積極的に取り組みます。
- 手順「落ちた落ちたゲーム」の要領と同じ

- ① T. Something is falling down (ロンドンブリッジのメロディーで)
- ② S. falling down falling down one・two・three・four (指導者がお題→児童は動作)

(食べ物編) candy →口を開ける apple →掌ですくう ice cream →食べる

(自然編) rain. →手で傘を作る stars →きらきら星をする snow →震える

(からだ編) eyes ears nose mouth behind →さわる

(スポーツ編) baseball →バットで打つ soccer ball →蹴る

(その他) monster →爪でひっかく balloon. →息を吹き込む

* **ポイント!** 児童が、傾聴できない場合は、教師が、一人一人の子どもたちの掌の上にエアーリングなどを配り、集中をうながします。お題を出す役を児童にしてもらってもよいです。カードを使うと視角優位な児童にも取り組みやすくなります。スピードを上げたり、教師が異なる動作を入れたりすると難易度が上がります。

2 感情ぴったんこゲーム.....情緒の解放・言葉でコミュニケーション

- ★ 音楽やリズムに合わせて動くことが得意な児童が多いので、**リズム(8ビート) + 動作 + 言葉 = チャンツエクササイズ**を考えました。
- ★ ゲームを通して、**自分の感情や思いをスムーズに表現し、友人と感情ぴったんこの体験**をしてほしいと考えました。
- ★ 順番を守れるように順番表を作成し、順番が終わったらシールを貼るなどして、支援します。

準備 リズムボックス ブラックボックス いろいろなボール カード pc プロジェクター レーザーマウス

(スポーツ編・手順)..... **soccer base ball basketball (オセロやトランプなどとも O. K)**

- ① **単語を知る** 指導者の動作や言葉のまねをしながら、チャンツエクササイズをする。

- ② **センテンス** Let's play soccer. Let's play base ball などを同様に行う。

- ③ **ぴったんこゲーム**

- ・ 一人ずつ全員、はてなボックスからカードを一枚ずつ引く。
- ・ 一人ずつ、前に出てきて、自分のカード(例 soccer)と同じカードを持っている児童を探し、**Let's play soccer!**と誘う。相手は、**Let's go!**と答える。
- ・ 2人でサッカーボールを取りに行き、サッカーゴールの絵の前にボールをおいて着席。

(様子を表す言葉編・手順)..... **happy sad hungry sleepy tired angry**

- ① **単語** スポーツ編と同様にチャンツエクササイズ。(I'm happy.などのセンテンスは、省略可)

- ② **happy, sad, hungry...などの顔の絵を見て、単語を言う。**(リズムとICT活用)

- ③ **連想させる物(例ポケモン)→顔の絵(happy)→単語(happy)→先生の顔写真(happy)**

という順番でパワーポイント(ICT)を使って表情と言葉表現とを重ね合わせていく。

* 例 割れた花瓶→sad ごちそう→hungry ベッド→sleepy. etc.(連想物はいつも同じ物を使う。)

- ④ **ぴったんこゲーム**

- ・ 全員に一枚ずつ、**連想させる物のカード**(例ポケモンなど)を配る。
- ・ 一人ずつ、前に出てきて、はてなボックスから顔のカードを引く。引いたカードの**顔の絵(happy)**と同じ連想物カード(ポケモン)を持つ相手を見つけ、happy と言いながらハイタッチ。
- ・ 2人でテレビ型枠の前に行き、**I'm happy.**または **happy** と言う。

* 朝の健康調査や日常のコミュニケーションの手段としてカードを使う。参考文献:教室・家庭で今すぐ使える SST2009,11.20)

ワークショップ1 (D会場)

『英語の授業もユニバーサルデザインに』

松田 泰生

(旭川市立向陵小学校)

1. はじめに

ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)のことです。

筑波大学附属小学校の桂教諭は「授業のユニバーサルデザイン化」を提唱し、①授業を焦点化(シンプルに)する、②授業を視覚化(ビジュアルに)する、③授業で(授業技術を)共有化(シェア)する、ことが必要であるとおさえています。

「授業のレベルを落とすのではなく、本質的にする」という点で、英語の授業においてもこの考えが当てはまると考えます。

2. 本校における自閉症・情緒障害学級(通称:チャレンジ学級)の様子

○在籍数:17名 担任:3名

○障害の状況…広汎性発達障害、ADHD、軽度知的障害、協調性運動障害など

○午前または午後3時間、チャレンジ学級で、①運動、②小集団活動、③個別学習を行っています。在籍児童は17名ですが、学級にやってくる回数は週に1～3回と児童によって異なりその組み合わせは障害の程度や学年で毎日変わります。本学級では、小集団活動の一つとして英語活動を比較的に情緒が安定しているグループ(4年1名、6年3名)に取り入れられました。

3. これまで実践したアクティビティ例

○ Mr.Coneがやってきた(わくわく英語タイム:光村図書)

・Hello. My name is～. Nice to meet you.I like～.

○ ジェスチャーをしよう(英語ノート1:文部科学省)

・Hello song

○ I like Pizza(デジタル掛図:東京書籍)

・英文の聞き取りクイズ、Hot potato

4. 小集団活動に英語を取り入れてみて

○ パソコンを用いたデジタル教材を使うことで視覚に訴えることができたり、自分で操作をする楽しみがあったりなど、児童の英語に対する興味を喚起することができました。4年生の児童には難しいかと思われましたが、デジタル教材に出てくるキャラクターを気に入って、難しい単語(キャラクター名)をすぐに覚えていました。

○ 「だから○○って言うんだ～」など、学んだ言葉やフレーズが、身の回りの生活の中にあることに気づき、より英語を吸収しようとする意欲を高めることができました。

○ 会話練習や動作を伴った歌などを通して、これまであまり多くなかった異学年でのグループ内交流を深めることができました。

○ 意外な単語やフレーズを知っていたり、発音の模倣が上手だったりなど、これまで気づかなかった子どもの特性を指導者が見出すことができました。

『特別支援学級でミニ外国語活動』

中 川 麻衣子

(旭川市立永山南小学校)

知的障害学級の担任をしています。クラスには、1年生から6年生まで6名の児童がいますが、それぞれ知的障害だけでなく、他の障害を併せ持っている子もあり、一人ひとりがとても個性的です。人とのコミュニケーションをとることは、全員の課題です。

楽しい活動で友達とコミュニケーションを図る、お互いを知る、自分の表現方法を増やす、音楽を聞いたり体を動かしたりすることで情緒の安定を図る、などの目的から、授業の中に外国語活動を取り入れてみました。私の試行錯誤の取り組みをご紹介します。

1. 子どもたちの「好き」をスタートとして活動を考える

好きな色、好きな形、好きな食べ物や動物など・・・6人それぞれの「好き」を学習するトピックとして取り上げることが効果的でした。少人数だからこそできる利点です。「〇〇さんの好きな色は何？」と聞いて他の児童が答えることができるようになったとき、自分だけでなく互いへの関心も高まり、けんかが少なくなりました。

2. テンポが多多少少ゆっくりで、歌詞がはっきり聞き取れるCDを使う

MPI Best Selection Song and Chants(松香フォニックス研究所)の「The Hokey Pokey」と「I Have a Joy」は、クラスの子達が何度も何度も聞いてリクエストする曲なので、ウォームアップに使っています。「I Have a Joy」では、友達同士腕をぶつけ合うことで、力の加減を学ぶことができました。

3. 英語で言えないときに使う「らくらくペン」(成美堂)

「大型掛図」や「らくらくシール」には、高精度の印刷が施されており、「らくらくペン」のペン先のセンサーが、そのデータを読み取って音を出してくれます。子どもたちが好きなのは効果音で、互いにクイズを出し合ったり、賞を与えるときのBGM代わりに使ったりすることもできました。私の学級では、“子どもの発話の代わり”として使ってみたところ、効果がありました。

4. ミニ英語活動の流れ

1回の外国語活動は約20分で、週に1回、次のような活動を行います。

活 動	内 容
①ウォームアップ	CDに合わせて体を動かし、楽しい気分。
②アクティビティ	・今日の日直さんの服を選ぼう！ ・動物の鳴き声クイズ ・好きなものを紹介する“I like 〇〇.” ・BINGOの名前替え歌
③歌(まとめの活動に置き換えることもあります)	「Hello Song」(MPI Best Selection Songs and Chants) 「手遊びABCソング」(歌っておぼえるらくらくイングリッシュ) 「I Like Blue」(〃) など